

大井町まち・ひと・しごと創生総合戦略改定箇所一覧

○ K P I（重要評価指標）の追加

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

《具体的な施策》

（イ）観光資源の開発とPRの推進

重要業績評価指標（K P I）	基準値	現状値	目標値
未病関連事業への参加者数	0 人 (平成 26 年度)	4,857 人 (平成 29 年度見込み)	5,000 人 (平成 31 年度)

※未病関連事業の評価指標値として新たに設定する。

○ K P I（重要評価指標）の修正

基本目標 1 安定した雇用環境を創出する

《具体的な施策》

（ア）商工業への支援

重要業績評価指標（K P I）	基準値	現状値	目標値
創業支援による新規創業者数	0 件 (平成 26 年度)	4 件 (平成 27～28 年度累計)	6 件→12 件 (平成 27～31 年度累計)

※大井町の創業支援事業計画に基づき目標値を再設定する。

重要業績評価指標（K P I）	基準値	現状値	目標値
大井スイーツセクション売上額	113 万円 (平成 26 年度)	209 万円 (平成 28 年度)	200 万円→300 万円 (平成 31 年度)

※基準値においては、平成 26 年度の事業開始時の 5 店舗における大井スイーツの年間売上額に対して、目標値を倍増とした。平成 28 年度では目標値達成をしたが、店舗ごとの売り上げでは倍増していない店舗もあるため、全ての店舗での売上額が倍増するように目標値を再設定する。

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

《具体的な施策》

（イ）観光資源の開発とPRの推進

重要業績評価指標（K P I）	基準値	現状値	目標値
農業体験受入数 →交流体験事業受入数	2,148 人 (平成 26 年)	2,180 人 (平成 29 年度見込み)	5,000 人→10,000 人 (平成 31 年度)
農業体験指導者育成人数 →交流体験事業指導者育成人数	1 人 (平成 27 年度)	43 人 (平成 28～29 年度累計)	41 人→80 人 (平成 31 年度)
農業体験受入事業開催数 →交流体験受入事業開催数	28 件 (平成 26 年度)	45 件 (平成 29 年度)	40 件→60 件 (平成 31 年度)

※農業体験だけでなく都市住民や団体等をターゲットにした交流体験事業の充実を図っていくため変更する。

基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育て支援と地域で子どもを育む環境を整備する

《具体的な施策》

（ウ）子どもの生きる力を育成する教育環境の充実

重要業績評価指標（KPI）	基準値	現状値	目標値
一時預かり保育の年間延べ利用人数 →在籍園児に対する預かり保育の 平均利用回数	— (平成 26 年度)	2,224 人 →12.7 回 (平成 29 年度見込み)	1,376 人 →14 回 (平成 31 年度)

※延べ利用人数の場合では、子どもの数の影響を受けやすいため評価の対象にしづらいと判断したため、園児に対する預かり保育の平均利用回数とする。

基本目標 4 夢おおい未来をめざし活力にみちたまちをつくる

《具体的な施策》

（ウ）安全で安心して生活できるまちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	現状値	目標値
消防団待機宿舎老朽化対策率	62.5% →75.0% (平成 26 年度)	75.0% (平成 29 年度)	87.5% (平成 31 年度)

※消防団第二分団待機宿舎については平成 19 年度に建てられたものであり、老朽化対策の対象ではなかったことから、目標値を 87.5%（第 2 分団待機宿舎を除く第 1 分団から第 8 分団の待機宿舎の老朽化対策率）としてきたが、老朽化対策完了時（老朽化対策の完了は平成 32 年度予定）の対策率を 100%としたいため、第二分団待機宿舎の数値も含むこととする。

○ ≪具体的な施策≫における取り組み内容の追加及び修正

● 追加

基本目標 4 夢おおい未来をめざし活力にみちたまちをつくる

≪具体的な施策≫

(ア) 情報の共有と地域活動への支援

「⑥まちづくりの推進」を新規追加

※平成 29 年度からシティプロモーション事業等の新たなまちづくり事業に取り組むこととしたため

● 修正

共通の修正

「未病いやしの里センター（仮称）」

→「未病バレー『BIOTOPIA（ビオトピア）』」

※正式名称が決定したため

基本目標 1 安定した雇用環境を創出する

≪具体的な施策≫

(イ) 農業の担い手育成と 6 次産業化、商工業との連携への支援

③相和地域のそばや地域と大学の連携により開発されたご当地弁当、大井スイーツセレクション等の販路拡大、町内の農産物を使用した商品の新たな開発支援など、6 次産業化や商工業との連携

→③相和地域のそば、地元の農産物を活用したご当地弁当、大井スイーツセレクション等の販路拡大や町内の農産物を使用した商品の新たな開発支援など、6 次産業化や商工業との連携

※大学との連携により開発されたご当地弁当については、地域外の事業者へ委託しており販路拡大が難しく、平成 29 年度よりメニューを変更して町内事業者により提供する体制としたため

基本目標 2 新しい人の流れをつくる

≪具体的な施策≫

(ア) 良好な住環境・生活環境の創出

⑥都市計画道路金子開成和田河原線や県道秦野大井線（篠窪バイパス）の早期整備を促進することによる交通網の充実

→⑥都市計画道路金子開成和田河原線 削除 の早期整備を促進することによる交通網の充実

※県道秦野大井線（篠窪バイパス）は、平成 30 年 3 月に開通したため

(イ) 観光資源の開発と P R の推進

②農業体験施設「四季の里」を中心施設として、都市住民をターゲットにした農業体験の機会提供

→②農業体験施設「四季の里」を中心施設として、都市住民をターゲットにした交流体験の機会提供

基本目標 3 結婚・妊娠・出産・子育て支援と地域で子どもを育む環境を整備する

≪具体的な施策≫

(イ) 家庭における子育てへの支援と地域における子育て環境の充実

② 乳幼児全戸訪問事業による全出生児への支援や育児相談の充実

→② 乳児家庭全戸訪問事業による全出生児への支援や育児相談の充実

基本目標 4 夢おおい未来をめざし活力にみちたまちをつくる

《具体的な施策》

（エ）公共交通の利便性の向上

①鉄道について、交通系ＩＣカードの導入等、利便性向上に資する要望活動の継続

→①鉄道 **削除** の利便性向上に関する要望活動

※御殿場線への交通系ＩＣカードの導入が決定したため